

今月の一言 NO.211

キーワード：打つ手は無限、しぶとく諦めない

必ず何か方法はあるもの。諦めたら、打つ手は出てこなくなる。とにかく「しぶとい経営」をすること。

「欠陥のない人、欠陥のない会社もない。みんな欠陥だらけや。だから人生はおもしろい。欠陥は宝やで。それを解決するために、人間は生まれてきたんやから」これは、木野親之氏が35歳で再建会社の代表取締役になったとき、松下幸之助氏が語った言葉です。木野さんが紙3枚分もある欠陥を書き出して「再建は難しい」と言ったところ、「君なあ、これひとつひとつ解決すれば、全部会社の財産に変わるんやで。欠陥は宝や」と激励してくれたというのです。

欠陥や課題がたくさんあっても、それをどう捕えるかが問題なのです。このように発想を転換して、気持ちを奮い立たせ、改善すること。それができるかどうかはすべてがかかっています。打つ手は無限にあると考えることで、欠陥や課題を解決する道は見つかり、それが去って、強み・宝に変わっていくのです。

これまで多くの会社に接してきて、業績の良い会社とそうでない会社の違いが、わかるようになってきました。

業績の良い会社の考え方

高い目標・ビジョン・明確な理念

アワー・カンパニー（社員みんなの会社）

社員の幸せ

苦勞をいとわない

オープン経営・衆知の経営

社員を信じて任せる

諦めずにしぶとい

∞！ ものさしを取り換え。

令和元年7月25日

さいのう とおる

追伸：梅雨明け宣言があり、暑い日が続きますが体調管理を十分に！